

講義名	消費文化論				授業形態		
担当教員	森脇 丈子	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 5 時限				
		単位数	2	履修開始年次	2 年生	ナンバリング・コード	

主題と概要

資本主義の発展は、私たちに「豊か」「便利な」生活をもたらしました。ものを所有するだけの「豊かさ」を超えて、働き方や余暇の有意義な使い方、精神的なゆとりの持ち方、さらには、現代の「豊かさ」とは何かといった面に高い関心が寄せられています。

その一方で、便利なはずの情報が多すぎることで疲れてしまう人がいたり、生活が便利になりすぎること疑問を感じる人がいたり、便利な生活が環境破壊に直結している事例などをよく見聞きするようになっていきます。また、環境保護に關しては、固陋的な議論が活発に繰り返されています。

この授業では、現代の消費様式や文化がどのように形成されてきたかについて学びます。さらに、私たちの生活のあり方の特徴とその問題点、ならびに、解決すべき課題がどこにあるかを探りながら、多様性が維持された生活の「豊かさ」や「便利さ」とはいったいどういうことであるかについて学び考えていきます。

到達目標

1. 消費社会の基礎である大量生産・大量消費・大量廃棄の仕組みが理解できるようになる。
2. 社会の発展のなかで、消費文化がどのようにみ出されるかについて理解できるようになる。
3. 「便利な生活」がもたらす正（プラス）と負（マイナス）の側面について考え、理解できるようになる。
4. 「賢い消費者」とは何かについて考え、理解できるようになる。

提出課題

課題レポートを提示します。このシラバスの「評価の基準」をよく読み、第1回授業に出席して授業の進め方等についての詳細説明を聞いてください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業開始時に、前回授業に關して出された質問や意見についてコメントをします。

授業開始時に、前回の授業の復習問題を提示します。手を挙げて回答して、各人の持ち点を上積みしていってください。

提出課題のなかから数例をとりだし、その特徴点等についてコメントをします。

評価の基準

1. 「授業中の発言・態度」…点数＝15点(1点×15回)
2. 「課題」・・・点数：30点(15点×2回、あるいは、10点×3回)
3. 定期試験…点数：50点

評価は、上記の「1+2+3」の合計点で、評価をします。

合計60点以上が、合格です。59点以下は、不合格です。

履修にあたっての注意・助言他

- ・新聞・ニュース・雑誌等で社会の出来事や消費者に関連する問題などについて、情報を日々収集しておいてください。
- ・第1回目の授業がイタダクスに必ず出席し、授業の進め方、課題の提出方法、評価基準をしっかりと理解したうえで、受講してください。
- ・授業では、かならずメモをとってください(PPT等のスライドによる撮影は禁止します)
- ・出席者に、プリント、新聞記事を適宜配布します。就職活動等による欠席者は、辞退の授業開始前に前回プリントを受け取ってください。
- ・正当な理由のある欠席については、欠席後10日以内に連絡をしてください。この期間を過ぎた申し出は受け付けません。
- ・授業中の席手なすしゃべり、教室への出入り、スマホ等電子機器の利用を禁止します。
- ・態度の悪い受講生には、退出してもらいます。

関連科目として、「消費者問題論」、「アミューズメント事業論」、「生活構造論」、「NPO論」、「経済学入門」の受講を勧めます。

教科書

・「使いやすい」.					

参考図書

・パンデミックの文明論.	ヤマザキマリ・中野信子	文藝春秋	980	9784166612765
・.990円のジーンズがつくられるのはなぜ？.	長田華子	合同出版	1540	4772612688
・大正文化 帝國のユートピア.	竹村民郎	三元社	3080	978488301337

その他
・山田登世子『贅沢の条件』2009年、岩波新書。
・伏木亨『人間は腹で食べている』、2005年、ちくま新書。
・藤原辰史(2018)『給食の歴史』、岩波新書
・石弘之『感染症の世界史』、KADOKAWA
・三浦展(2018)『100万円で家を買ひ、週3日働く』、光文社新書
その他の参考文献は、授業中に適宜紹介します。

授業計画

1. 授業の内容紹介と授業の進め方について、 経済の発展と「消費社会」の変化について考える
2. 資本主義の発展とその基礎
3. 資本主義の発展と生活の「豊かさ」
4. 小売業の発展と生活様式の成立：19世紀のアメリカ社会を例に
5. 小売業の発展と生活様式の変化：20世紀のアメリカ社会を例に
6. 経済と公共事業
7. 大衆生活と「豊かさ」-人々の生活と意識の変化
8. 世界初の百貨店ボン・マルシェの登場(1)：売り方の改革、消費者層の広がり
9. 世界初の百貨店ボン・マルシェの登場(2)：社員教育
10. 日本百貨店の登場と消費階層の広がり
11. 大正時代の経済発展と消費文化(1)-神戸の経済
12. 大正時代の経済発展と消費文化(2)-洋式的生活
13. 日本における戦後の生活の変遷(1)：農村部から都市型社会へ、生活の「豊かさ」、余暇社会
14. 日本における戦後の生活の変遷(2)：消費の多様化
15. 大量廃棄システムと環境問題、定期試験について

授業形態（アクティブ・ラーニング）

☐ ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

【予習】授業終了時に、予習について説明します。次回の授業内容に関連する基礎的な語句や情報を調べる等の予習を、授業開始時まで済ませておいてください（作業時間：2時間程度）。

【復習】その日の授業で取った内容は、次の授業の理解の基盤になります。また、課題で合格点をとるために必要な知識となります。授業で使ったプリントを用いて、基礎的な内容の復習をしてください。配布プリントの最後に、復習問題を提示してあります。また、配布した新聞記事などを利用して、具体的事例で授業内容をより深く理解できるように努め、ノートに要点をまとめておいてください。（作業時間：2時間程度）。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができる。

社会の問題や入りとの考え方を考えることができ、社会貢献・産学連携、インターンシップなどで現実社会との接点を持ち、「社会人」として活躍できる基礎的な能力を身につけ、より良い社会を実現するための新しい社会、文化を創造することができる。

人間の精神機能と心理学の研究法に関する基礎的知識を有し、さまざまな場面に直面する人間の心理と行動を科学的に分析し予測することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

対面の授業中に多くの質問をします。受講者は、自分の意見を述べてください。

実務経験の有無及び活用

備考

大学の提示にしたがい、感染予防に努めてください。

第1回目の授業に必ず出席し、授業方法、成績評価方法について、しっかりと理解してください。

授業ではメモをとって、理解を深めてください(スマホによるPPT等の撮影は禁止します)。

出席後に、プリント、新聞記事を適宜配布します。就職活動等による欠席者は、辞退の授業開始前に前回プリントを受け取ってください。

正当な理由のある欠席については、欠席後10日以内に連絡をしてください。この期間を過ぎた申し出は受け付けません。

授業中の私語や教室への勝手な出入り、スマホ等電子機器の利用を禁止します。

授業態度の悪い人には、退室を求めることがあります。